

令和3年度第3学期始業式式辞

校長 澤山 陽一

いよいよ3学期の始まりです。皆さん一人一人の努力により、冬休み中に大きな事故もなく3学期を迎えることができ、校長として本当にうれしく思っています。

3学期は、まとめの学期です。3年生にとっては卒業を目前に控え自分の進路の最終的な準備が必要な大切な時期です。1・2年生にとっては、進級を目前に控え最終的な学習や部活動などについてこれまでの努力を検証するなど学年のまとめと次の学年の準備を進める時期になります。また、3学期は2学期と違いあっという間に時が流れます。一日一日を大切に丁寧に過ごしましょう。

さて、今日久しぶりに登校した人も多いと思いますが何か感じましたか。雨の中の登校は大変だったと思います。いつもより視界も制限されそれどころではなかったかもしれません。私は、昨日久しぶりに校庭を見て回りました。冬なので寒さも厳しく、花は何も咲いてなさそうに感じますが、正門付近のツバキがちらほらと咲き、サザンカはピンクの花を枝いっぱい咲かせていました。西側の水路の手前にはアロエの花がオレンジ色の花を満開に咲かせ見事です。アロエは便秘にいいということで最近アロエ入りのヨーグルトも販売され人気があるようですが花もサラダに入れたりてんぷらにしたらおいしいらしいです。私はこの花を見たときに、今年こそは、「アロエの花のてんぷらを食べよう」と思いつつ、未だに実現できていません。今年こそは必ず、実現させたいと思います。さらに水路側には、スイセンが植わっています。このスイセンは、私が15年前に本校に勤務していた時の校長先生が、「水の傍にはスイセンが似合うの

で植えたい」とおっしゃったので植えたものです。ここに植えたスイセンはニホンスイセンという種類で全国にこの花が咲き誇る名所が数多くあります。愛媛でも双海町のスイセンは有名です。ちょう今が満開の時期ですので、例年ならば多くの見物客でにぎわっています。名前からするといかにも昔から日本に自生しているかのように思われがちですが、実は、地中海沿岸が原産地で中国を經由し日本に伝わってきたとされています。しかし、その時期はいろんな説があり定かではありません。本校の水路傍のスイセンは、毎年見事に咲いていましたが、今年は去年の工事の影響で十分に成長できずに花をつけることができなかつたようです。とても残念ですが、来年はこれまで以上に立派に咲き誇ると思います。

私は、植物がとても好きなので校庭の植物の様子がいつも気になります。皆さんはどうですか。人それぞれ感じるものは異なると思いますが何か人が気付かないことを感じるができることは、とてもはずばらしいことだと思います。以前の生徒で、先生方の車とそのナンバーをほとんど覚えているようなユニークな人がいて驚かされましたが、それはそれですばらしいことだと思います。私は、生徒の皆さんに日々をポート過ごすのではなく、何かいつもと違うこと等に敏感に感じるような人になってほしいと思っています。またそのような気持ちをもって日々を過ごしそのような感性を磨いてほしいと思います。その積み重ねが、社会人になって「よく気付いたね、君すごいね」と言われ人から信頼されひいては、「仕事ができる人」につながっていくはずです。本校にはそのチャンスが満ち溢れていると思います。

では、これから始まる、3学期も、自分の命は自分で守ること、常に「笑顔と

感謝」の気持ちを持つこと、人の話にしっかり耳を傾け生活することを、よろしくお願いします。それと、新型コロナウイルス感染防止のためにいつも「私はコロナウイルスにかかっているかもしれない、仲間を濃厚接触者にさせないように行動しよう」という気持ちを忘れずに過ごしましょう。